

平成30年1月17日

関係各位

全国農業協同組合連合会  
麦類農産部

## 平成29年産大豆の集荷見込み（12月末速報値）について

このことについて、下記のとおり報告いたします。

## 記

1. 本会は、29年産大豆の集荷見込み数量（全農分）について、12月末時点での調査を実施し取りまとめた結果、前回(10月末時点)調査から4,700トン減の約185,600トンとなる見通しとなりました（前年実績対比103%、本年生産計画対比91%）。
2. 今回取りまとめた集荷見込み数量について、収穫期に降雨の影響を受けたところや小粒化傾向がみられたところを中心に、10月末時点の調査結果より下方修正となっています。  
粒・等級比率について、東北・関東地区は、品質低下により上位等級比率が平年に比べ少ない状況です。九州地区においては、小粒化により大粒比率が直近の入庫で5割をきっています。  
なお、入庫進度は東北・関東地区を中心に例年よりやや遅れている状況となっています。
3. これら状況と、昨年11月に策定いたしました「平成29年産大豆の集荷・販売計画」をふまえ、入札ならびに相対・契約栽培取引による円滑な受渡しについて取組んでまいります。  
今後も大豆生産の適切な情報発信に努めていきます。

※別紙資料「【国産大豆情報】平成29年12月末全農集荷見込調査（速報値）」

以上

お問い合わせ 全農 麦類農産部大豆・特産課 佐々木・石井 TEL 03-6271-8200
--

【国産大豆情報】平成29年12月末全農集荷見込調査（速報値）

■ 29年産大豆の地域別集荷見込み数量について

単位：トン

地域	28年産集荷実績	29年産集荷見込数量(全農)			10末対比	特記事項 (前回10月末調査からの増減)
		5月末時点	10月末時点	12月末時点		
北海道	57,630	70,100	68,300	<b>70,000</b>	102%	平年と比較し、やや粒形が小さいものの、概ね平年並の収量となる見通し。
東北	43,300	44,400	38,600	<b>36,700</b>	95%	日照不足・収穫遅れ等で減収となり下方修正。
関東	9,730	12,000	10,800	<b>10,000</b>	93%	夏場の長雨、収穫期の降雨により品質が低下し下方修正。
北陸	18,660	20,200	18,200	<b>18,400</b>	101%	収穫期の降雨で石川が若干下方修正。台風の影響で減産を見込んでいた福井は上方修正。
東海	12,500	12,400	10,000	<b>10,200</b>	102%	大きく減産を見込んだ愛知において若干上方修正。
近畿	8,090	7,800	7,300	<b>6,700</b>	92%	滋賀で収穫期の降雨の影響を受け、下方修正。
中国四国	2,580	2,900	3,000	<b>2,700</b>	90%	10月の長雨と台風21号、22号の影響で選別歩留まりが低下し、下方修正。
九州	27,270	33,800	34,100	<b>31,000</b>	91%	選別作業が進み小粒化傾向が顕著に見られ下方修正。小粒傾向ではあるが品質は良好。
合計	179,750	203,400	190,300	<b>185,600</b>	98%	

※29年産集荷見込数量については、100t単位でラウンド処理している。

■ 主要品種の動向（上位10品種）

単位：トン・%

品種名	27年産集荷実績	28年産集荷実績 ①	29年産集荷計画 (10月末) ②	29年産集荷見込 (12月末) ③	28年産対比	29年産集荷計画対比
					③/①	③/②
とよまさり	44,534	44,197	53,300	54,800	124%	103%
フクユタカ	40,366	41,981	45,600	42,400	101%	93%
里のほほえみ	9,202	11,810	13,500	12,900	109%	96%
エンレイ	19,354	13,552	12,100	12,500	92%	103%
リュウホウ	13,337	13,597	10,900	10,800	79%	99%
ユキシズカ	9,222	8,611	9,600	10,000	116%	104%
タチナガハ	9,014	8,114	7,200	6,500	80%	90%
ミヤギシロメ	5,171	5,269	5,400	5,400	102%	100%
おおすず	6,003	5,990	5,600	5,300	88%	95%
タンレイ	3,965	3,963	3,800	3,200	81%	84%

※ 29年産については100t単位でラウンド処理している。